



# 平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 神島化学工業株式会社

コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 平成25年12月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年4月期第2四半期の業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	9,318	10.9	414	21.0	340	26.4	216	33.6
25年4月期第2四半期	8,401	△4.6	342	△22.9	269	△26.0	162	△33.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	23.67	—
25年4月期第2四半期	17.71	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	17,754		4,678		26.4	
25年4月期	17,467		4,495		25.7	

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 4,678百万円 25年4月期 4,495百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年4月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年4月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年4月期の業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,900	10.0	700	62.4	500	82.2	300	102.3	32.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期2Q	9,240,000 株	25年4月期	9,240,000 株
26年4月期2Q	80,198 株	25年4月期	78,352 株
26年4月期2Q	9,160,839 株	25年4月期2Q	9,163,228 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による金融緩和政策や積極的財政政策等のアベノミクス効果により円安・株高が進行し景気は緩やかな回復傾向で推移しましたが、他方、一部海外経済の減速、輸入燃料の高騰等もあり、やや不透明な状況もありました。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場は、東北地区を中心とした復興需要、金利・地価の先高感、消費税率引き上げによる駆け込み需要の発生等から堅調に推移しました。

このような経済・経営環境の中、売上高につきましては9,318百万円となり、建材事業の好調を主因として前年同四半期比916百万円(10.9%)の増収となりました。

損益面でも、売上増加を主因として利益は拡大し、営業利益は414百万円と前年同四半期比71百万円(21.0%)、経常利益は340百万円と同71百万円(26.4%)、四半期純利益は216百万円と同54百万円(33.6%)の増益と昨年を上回る良好な仕上がりとなりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ① 建材事業

建材事業におきましては、前述の通り良好な市場環境下、従来からの営業活動も結実し、売上高は6,761百万円と前年同四半期比872百万円(14.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)も330百万円と同155百万円(88.5%)の大幅増益となりました。

## ② 化成品事業

化成品事業におきましては、国内需要の不振を輸出の拡大によりカバーし、売上高は2,556百万円と前年同四半期比44百万円(1.8%)の微増となり昨年並みの水準を確保しましたが、セグメント利益(営業利益)は減価償却負担等から305百万円と同65百万円(17.6%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間の総資産は17,754百万円となり、前事業年度末(以下前年度)に比べ287百万円増加いたしました。このうち、流動資産は10,101百万円と前年度に比べ592百万円増加いたしました。主な増加要因は、現金及び預金が428百万円、受取手形及び売掛金が288百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は7,653百万円となり前年度に比べ305百万円減少いたしました。主な減少要因は、有形固定資産が336百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、6,826百万円と前年度に比べ434百万円減少いたしました。主な減少要因は、短期借入金が420百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、6,249百万円と前年度に比べ538百万円増加いたしました。主な増加要因は、長期借入金が465百万円増加したことによるものであります。

純資産は、4,678百万円と前年度に比べ183百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が161百万円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ428百万円増加し、当第2四半期会計期間末には1,979百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は895百万円(前年同四半期は255百万円の減少)となりました。

主な増加要因は、税引前四半期純利益312百万円、減価償却費515百万円によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は150百万円(前年同四半期は839百万円の減少)となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出149百万円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は315百万円(前年同四半期は1,734百万円の増加)となりました。

主な増加要因は、長期借入による収入1,200百万円によるものであります。また、主な減少要因は、短期借入金の純増減額420百万円、長期借入金の返済による支出1,028百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月期通期の業績予想につきましては、平成25年9月11日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後の動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、適時に開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,551	1,979
受取手形及び売掛金	4,188	4,476
商品及び製品	2,232	2,181
仕掛品	683	636
原材料及び貯蔵品	552	582
繰延税金資産	150	154
その他	154	94
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	9,509	10,101
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,177	2,117
機械及び装置（純額）	3,051	2,804
土地	1,248	1,248
その他（純額）	402	373
有形固定資産合計	6,879	6,543
無形固定資産		
投資その他の資産	15	13
投資有価証券	680	707
繰延税金資産	320	333
その他	62	54
投資その他の資産合計	1,063	1,096
固定資産合計	7,958	7,653
資産合計	17,467	17,754
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,558	2,631
短期借入金	1,800	1,380
1年内返済予定の長期借入金	1,821	1,528
未払金	445	474
未払費用	195	220
賞与引当金	199	230
設備関係支払手形	30	42
その他	209	319
流動負債合計	7,261	6,826

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年10月31日)
固定負債		
長期借入金	4,443	4,908
退職給付引当金	1,033	1,087
役員退職慰労引当金	84	90
その他	149	163
固定負債合計	5,711	6,249
負債合計	12,972	13,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,078	1,078
利益剰余金	2,008	2,170
自己株式	△26	△27
株主資本合計	4,380	4,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115	136
評価・換算差額等合計	115	136
純資産合計	4,495	4,678
負債純資産合計	17,467	17,754

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	8,401	9,318
売上原価	6,113	6,802
売上総利益	2,287	2,515
販売費及び一般管理費	1,945	2,101
営業利益	342	414
営業外収益		
受取配当金	9	9
破損損害金	7	7
雑収入	11	8
営業外収益合計	27	25
営業外費用		
支払利息	83	78
雑支出	17	19
営業外費用合計	100	98
経常利益	269	340
特別損失		
固定資産除却損	4	28
固定資産処分損	2	—
特別損失合計	7	28
税引前四半期純利益	262	312
法人税、住民税及び事業税	48	118
法人税等調整額	52	△23
法人税等合計	100	95
四半期純利益	162	216



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	262	312
減価償却費	434	515
固定資産除却損	4	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	57	53
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	5
受取利息及び受取配当金	△9	△9
支払利息	83	78
売上債権の増減額(△は増加)	△164	△289
たな卸資産の増減額(△は増加)	△288	67
仕入債務の増減額(△は減少)	△544	72
未払又は未収消費税等の増減額	△19	149
その他	8	90
小計	△178	1,076
利息及び配当金の受取額	9	9
利息の支払額	△73	△74
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12	△116
営業活動によるキャッシュ・フロー	△255	895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△838	△149
無形固定資産の取得による支出	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△839	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30	△420
長期借入れによる収入	2,800	1,200
長期借入金の返済による支出	△970	△1,028
配当金の支払額	△54	△54
その他	△10	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,734	△315
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	639	428
現金及び現金同等物の期首残高	1,547	1,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,187	1,979

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,888	2,512	8,401	—	8,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,888	2,512	8,401	—	8,401
セグメント利益	175	370	546	△203	342

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△203百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,761	2,556	9,318	—	9,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,761	2,556	9,318	—	9,318
セグメント利益	330	305	635	△221	414

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△221百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△221百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。